

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について ・授業研究等	特別活動について ・部活動や学校行事	生徒指導について ・基本的生活習慣等	進路指導について ・進路行事、進路情報等	校務一般について ・校務分掌、PTA、同窓会、地域との連携等
学校関係者のご意見・ご感想・ご提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価がやや控えめで、委員会での報告説明を聞いた限り、問題は無いと考える。しかし、全日制の5. に記した通り、外部評価にはKPIを用いていただきたいです。</li> <li>コグトレを利用した学習により基礎学力の向上がみられていると思われまます。継続をお願いします。</li> <li>個人差の大きい生徒さんに対して、よく対応してくださっていると感じました。</li> <li>困り感に寄り添う「コグトレ」で生徒さんたちの基礎学力の土台作りを先生方がしっかりご指導していると感じました。</li> <li>人間関係が不得意な生徒が多いでしょうから、パソコンの技術を磨く等、興味を持って意欲が出るようなことに向かってくれればいいのですが。</li> <li>タブレットや電子黒板なども既に活用されているようですが、ICTなどの全体研修は行われていないとの事。AIは日進月歩の世界なので、教員の研修も大切だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不断の活動企画（新規的）があり、充実している。「縦割り活動」は良い着眼の取組である。教育効果が短期的には見え難いとも考えます。</li> <li>りんごの皮むき、手話等縦割り学習を8回実施されよかった。コミュニケーションの実体験が生徒の自信につながったと思われまます。</li> <li>説明をいただいた縦割り活動や不登校傾向の生徒への対応等とてもよく考え、取り組まれていると感じました。</li> <li>縦割り活動を多く実施されることによりコミュニケーションのほかり方などが身につくので、大変良いことだと感じました。</li> <li>縦割り活動を8回も実施された成果が上がったことは喜ばしいこと。修学旅行は是非、充実させたいですね。</li> <li>1学年だけでは、少人数なので縦割り活動を実施したり、異年齢集団による協働的な活動で、コミュニケーション能力を高めることは大切だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代に沿った校則改定は大切。個々の生徒の状況を教職員全体が共有し活動していることが見え、良好と考える。</li> <li>生徒の抱える問題点を、職員間で共有され、統一的に指導できた点は、定時制ならではの良い点と思われまます。</li> <li>日々の取組は、すぐに効果が出るものではありませんが、今後も生徒に寄り添った指導をしていたければと期待しております。</li> <li>個々の対応、先生方での情報共有がなされていることはありがたいことだと思います。</li> <li>不登校の生徒が多い中、理解して指導することは大変です。成果があったようで良かったです。</li> <li>いろいろな意味で、時代・社会環境が大きく変わる中、校則の見直し、生徒指導内規などの改訂をすすめることは、重要なことと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な「ロールモデル」に足りる先輩卒業生を輩出しており、「卒業生講話」は好循環する決定的ツールと考える。敬服に値する活動と考えまます。</li> <li>卒業生講話により、生徒が進路を身近にとらえることが出来よかった。生徒各人が必ず有する「強み」を自覚させ、それを将来にわたり伸ばす指導をお願いします。</li> <li>各関係機関と連携をとりながら生徒に寄り添った指導がなされていると感じました。</li> <li>全員が内定合格とのことで、先生方のご指導が行き届き、また、生徒さんたちも進路に対する意識が高まり、頑張っていると感じました。</li> <li>全員進路決定、おめでとうございます。</li> <li>「卒業生講話」などを活用して、生の声をきくことは、非常に重要なので、継続して頂ければと思います。11月までに、全職員の指導のもと、卒業生全員の進路が決定したのは素晴らしいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～4も含めて、全体として「手立て」がP欄に記載されており、好ましい。KPIについても、手立てに対応して定めれば良いと考えまます。</li> <li>校務全般スムーズに運営されている。定時制に特有の危機管理につき検討継続をお願いします。</li> <li>様々な面において、先生方の考えを生かして学校運営がされていると分かりました。次年度も職員の創意を生かした校務運営に期待いたします。</li> <li>地域・家庭等の連携をしっかりとなさっていると感じました。</li> <li>PTA、教育振興会との連携がうまく活動して、協力していただけるようお願いしたい。</li> <li>全日制的アンケートの中に、校舎内が寒いとの意見が複数ありました。定時制は、夜の授業もあり、特に冬場には、寒いとの声はないでしょうか。</li> </ul>
評価	B	A	A	A	B

《ABC評価》 A：具体的な活動がなされ、目標を達成できた。  
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。  
 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について (教務部・研修部・各教科等)	特別活動について (特別活動部・支援委員会等)	生徒指導について (生徒指導部・保健部・支援委員会等)	進路指導について (進路指導部・支援委員会・各学年部等)	校務一般について (総務部・校内LAN運用管理委員会等)
重点目標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の学習および評価について理解を深める。</li> <li>生徒の「わかった！」を引き出す指導を工夫する。</li> <li>高校入試業務をミスなく遂行する。</li> <li>校内研修の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実社会をよりよく生きるために、コミュニケーション能力の育成を目指す。</li> <li>自己実現のための見通しをたてる能力の育成を目指す。</li> <li>生徒理解・相談活動に関する研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導部内規の早期整備を図る。</li> <li>安心安全な学校生活が送れるように生徒の自主性・自律性を伸ばす。</li> <li>基本的な生活習慣を確立し、思いやりの気持ちを育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業予定者全員の進路決定を目指す。</li> <li>進路行事を通して生徒の進路意識の向上を図る。</li> <li>関係機関と連携した進路指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な視野で各分掌間の連絡調整を図る。</li> <li>P T A・教育振興会・関係諸機関との連携を密にし、教育環境の整備充実と活性化に努める。</li> </ul>
実施状況・達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>観観点別評価が各科目の評点・評定に反映される形式になっており、職員による運用も概ね順調である。</li> <li>現在、本校（定）にあわせた校務支援システムの操作手順について、マニュアルの作成が進行中である。</li> <li>高校入試業務は、昨年度の業務を踏まえて、改善している。</li> <li>授業参観を活用して、他の教員の授業観察を行い、指導方法を参考に改善に取り組んだ。今後は、参観の結果を授業にどうフィードバックさせていくのが課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦割り活動を計8回実施した。異年齢集団による協働的な活動で、適切なコミュニケーションをとることができた。</li> <li>面談週間や縦割り活動、生徒情報交換会の実施等により、生徒の実態把握に努めるとともに、生徒自身が何に困り感をもっているのかについて自覚できるよう働きかけた。</li> <li>高等学校特別支援チームと連携し、事例検討会を春と冬に2回実施した。個別の生徒に対して効果的・具体的な支援に関する知見を得た。また、S S W（スクールソーシャルワーカー）や地域の行政機関、アルバイト先と連携して、継続的な支援を進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導提要改定にともない周辺高校の校則の見直し案等を参考にし、職員からの意見を集約した生徒指導内規案を作成した。</li> <li>非行・事故防止の未然防止については、生徒指導だよりや集会での注意喚起、職員打合せでの情報共有が徹底されている。また整容指導を実施することができた。</li> <li>健康診断とライフタイム調査の結果については、1学期中に回覧等で職員に周知した。事後措置や分析結果については、学校保健委員会で報告、協議を行い、個別の事後指導につなげた。</li> <li>健康相談活動の中で、本人の気持ちや行動を言葉にして返すことで、共感される安心感が得られるよう心がけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月までに卒業予定者全員の進路を決定することができた。学年任せではなく全職員で指導できた。</li> <li>「卒業生講話」や「進路体験を語る会」は予定どおり実施できた。事前の打ち合わせや準備を念入りに行うことで、進路に関する具体的な行動や心構えなど生徒が必要とする話をしてもらうことができた。</li> <li>ハローワークと連絡を取り合いながら、就職に関する情報を得ることができた。来年度就職予定の生徒について、関係機関と連携を始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議前に各分掌に声をかけ、会議の内容を共有し、連携を図った。</li> <li>全日制の危機管理マニュアルに合わせた形で改訂した。</li> <li>職員の協力のもと、管理職に声をかけてもらい、各行事の担当者がW e b ページを更新し、更新の頻度も多くなった。</li> <li>校内ネットワーク等の運用については、年度当初に多少の混乱があったが、それ以降は、安定して運用され使用していた。各科目で教材を作成し、授業で使用しており、十分に活用されている。</li> </ul>
評価	B	B	B	A	B
次年度への提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務支援システムの作成業者と連絡を取りながら、より有効な方法を探り、安定したシステムの運用を目指す。</li> <li>出欠統計等、成績処理における単純なミスを防止するために、確実なチェック作業を徹底できるように、手順を明確にして周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活へつながるような学校行事等を取り入れる。</li> <li>各学年で目指す生徒像を確認し、その情報を共有して支援にあたる。</li> <li>S S Wや地域の外部支援機関、アルバイト先と連携を継続させる。校外にある相談機関の把握とその連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導内規が制定されたら、本校の生徒心得である「定時の心得」の改定に向けて動きたい。来年度は全校生徒から現行の「定時の心得」の見直しをしてもらい、再来年度の生徒総会で改定案の議決を取りたい。</li> <li>食育の一環として、調理実習を兼ねた保健講話を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「調査書・推薦書等作成要領」を全職員に配付して活用する。</li> <li>6月に拡大進路部会（3・4年部と合同）を開き、情報共有を図る。</li> <li>支援委員会と連携を図り、より生徒の個性に合った進路指導に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時制課程は夜間の授業であることから、独自の危機管理マニュアルを作成したい。</li> <li>現有の生徒端末の保守管理と、令和9年度からの個人端末の利用（B Y O D）に向けた実施計画等を作成する。</li> </ul>